

放射線治療生物学的研究室

教員4名、大学院生＋学部生25名の大所帯



がん治療の課題

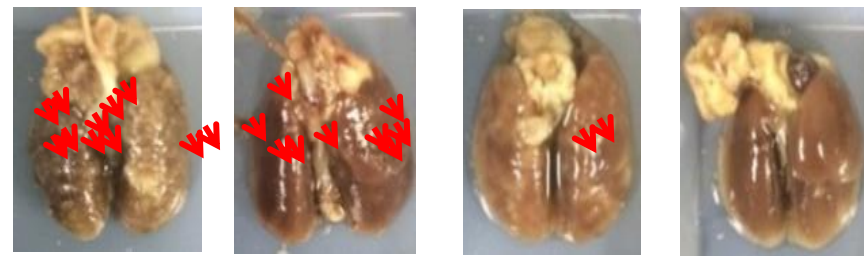
- ・遠隔転移が制御できない
- ・難治性腫瘍（治療抵抗性）の存在



様々な放射線や薬剤の併用等の生物研究により課題の解決を目指す！

放射線で免疫を活性化し、遠隔転移の制御（アブスコパル効果）を目指す研究

- ・アブスコパル効果を起こすメカニズムを解明し、臨床への橋渡しへ
- 無治療 免疫 放射線 放射線＋免疫



放射線抵抗性メカニズムの解明

放射線増感剤とがんの浸潤・転移
患者検体を用いた効果・転移予測

医学科、国内外の多施設と連携



炭素線動物実験
@QST(千葉)



ホウ素中性子捕捉療法
国立がん研究センター



City of Hope.

In Los Angeles

研究室の大学院生3名
が留学中